

# FUJILLOY

東証プライム (6167)

世界の基幹産業を支えて75年  
富士ダイス株式会社

## 超硬耐摩耗工具・金型のトップシェア 富士ダイスの事業と成長戦略



2024年10月

## 本日覚えていただきたい3つのポイント

1. 世界の基幹産業を支えるニッチトップな存在
2. ニッチトップを支える  
「開発力」×「技術力」×「営業力」
3. 成長への道筋と株主還元策

01

世界の基幹産業を支えるニッチトップな存在

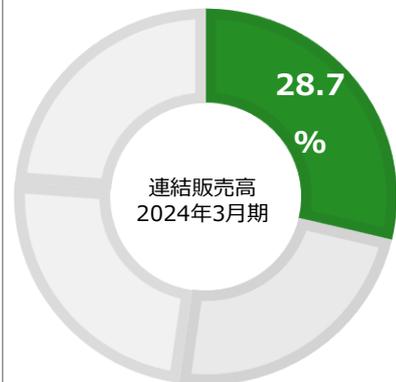
# 会社概要（2024年10月現在）

商号	富士ダイス株式会社
所在地	東京都大田区下丸子二丁目17番10号
資本金	164百万円
代表者	代表取締役社長 春田 善和
創業	1949年6月
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場（証券コード：6167 [業種：機械]） 2015年6月東証二部に上場、2017年4月東証一部に市場変更
事業目的	超硬合金製の耐摩耗工具・金型の製造販売
連結子会社	新和ダイス株式会社 富士シャフト株式会社 FUJILLOY (THAILAND) CO., LTD. 富士模具貿易（上海）有限公司 PT. FUJILLOY INDONESIA FUJILLOY INDIA PRIVATE LIMITED FUJILLOY MALAYSIA SDN. BHD.
従業員数	1,106名（2024年3月期末時点、連結）

# 事業内容 製品区分

## ■ 超合金製を中心とした工具・金型（耐摩耗工具）製造に特化

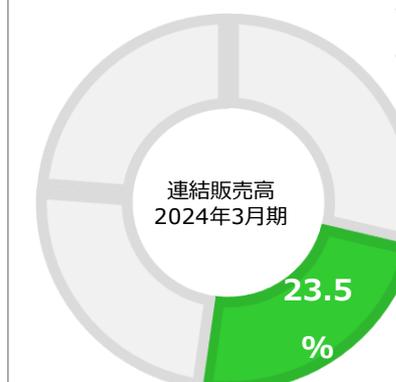
### 超硬製工具類



- ・ ダイス、プラグ
- ・ 溝付きプラグ
- ・ 熱間圧延ロール
- ・ 超高压発生用工具 等



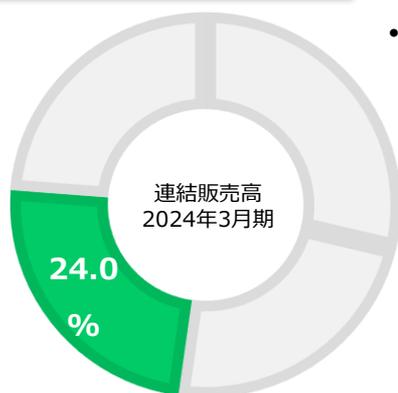
### 超硬製金型類



- ・ 自動車部品製造用
- ・ 製缶用
- ・ 電池関連用 等



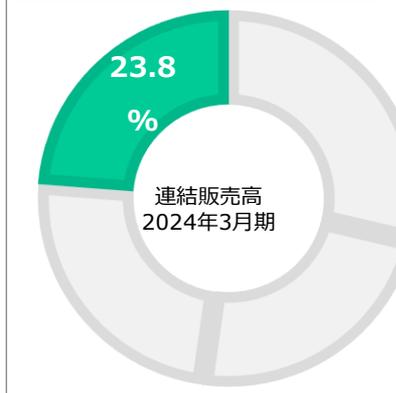
### その他の超硬製品



- ・ 超合金素材
- ・ 半導体製造装置用部品 等



### 超硬以外



- ・ 鋼製品
- ・ KF2製品
- ・ セラミックス製品
- ・ ダイヤモンド研削砥石
- ・ FHR製品
- 銅タン
- NFメタル
- 引抜鋼管 等



# モノづくりを土台から支える「生命工具」

## 自動車



エンジンをはじめ、さまざまな部品の製造ラインに使用

## エアコンなどの家電 航空機などの輸送機器



エアコンなどの家電、航空機などの輸送用機械、鉄道架線・電線などインフラ設備の他、幅広く使用

## 飲料缶・食缶



超合金の高精度な製缶金型で高いシェア

## 鉄道架線・電線など インフラ設備



## カメラレンズ



スマートフォンや一眼レフカメラレンズ製造用金型に使用

## 人工ダイヤモンド



人工ダイヤモンドの製造や新たな素材の開発などに使用

# 代表的な製品例

## 引抜・押出・圧延加工をする工具

輸送用機械、建築材料やインフラ関連の設備等へ使用

### 当社製品



ダイス・プラグ



ロール

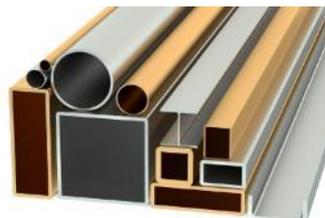
### 成形部材



パイプ



線材



異形管

### 最終製品例



エアコンなどの家電



飛行機などの輸送機器



鉄道架線・電線など  
インフラ設備

# 代表的な製品例

## 飲料缶・一般食缶を製造する工具・金型

アルコール飲料や清涼飲料等の飲料缶を作る金型

## 光学素子を製造する金型

一眼レフ・通信用・監視カメラのレンズを生産する金型

### 当社製品



製缶工具

### 最終製品例



飲料缶・一般食缶

### 当社製品



光学素子成形用金型

### 最終製品例



スマートフォンレンズ カメラレンズ



監視カメラ

# 代表的な製品例

## 鍛造用工具・金型

二輪車や四輪車、各種製造機械等の部品を作る金型

## 高圧工具

人工ダイヤモンドの製造、新たな素材の開発、地球の内部環境研究に用いる工具

### 当社製品



鍛造金型

### 最終製品例



自動車・各種機械用部品

### 当社製品



高圧工具

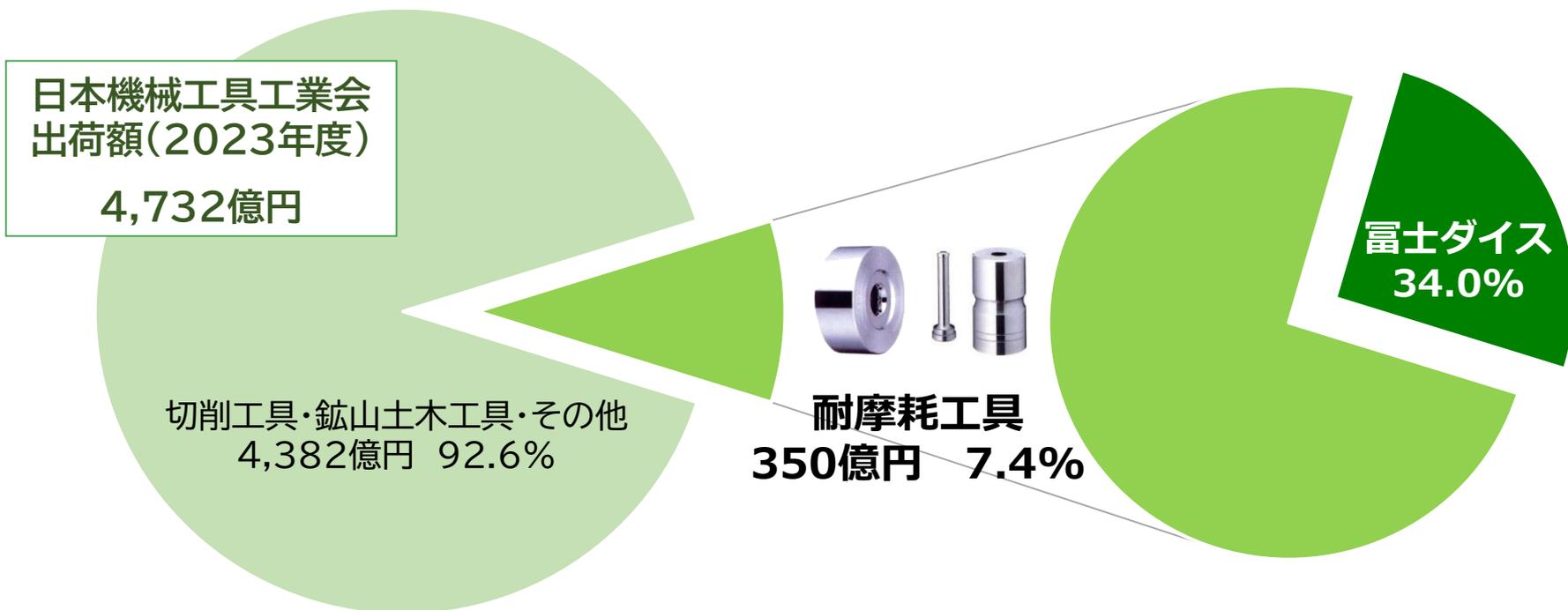
### 最終製品例



人工ダイヤモンド・  
新素材開発

地球物理学研究

# 超硬工具の国内市場規模（日本機械工具工業会調べ）



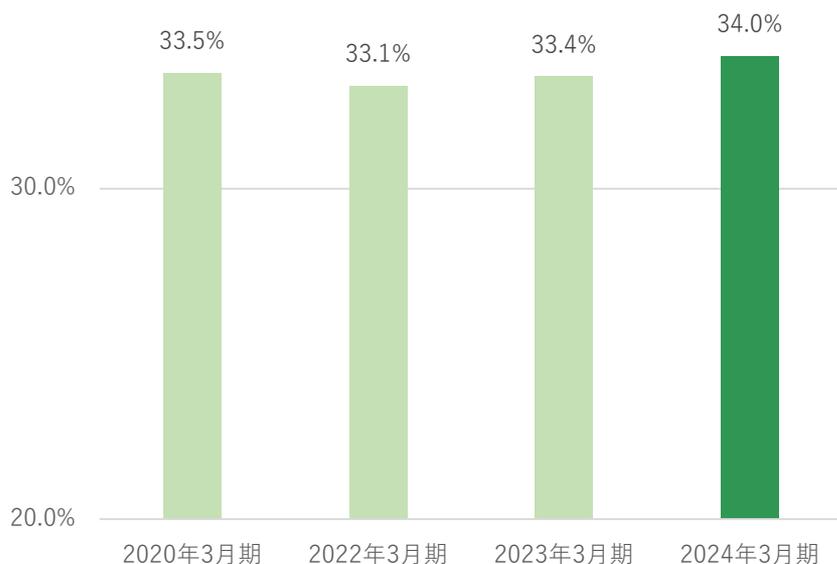
**耐摩耗工具における当社シェア 34.0%**  
**当社の超硬工具の売上 119億円**

★2023年度単体売上は、約148億円  
超硬耐摩耗工具が主力製品（超硬製品は全体の約80%）で、他に銅タン合金・セラミックス製品  
ダイヤモンド工具等を製造・販売

# 耐摩耗工具専門国内トップメーカー

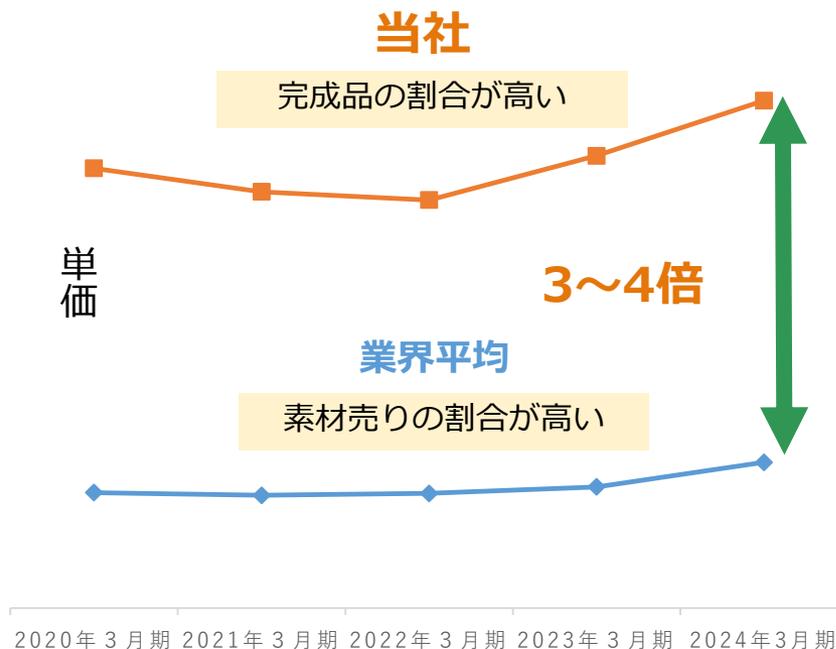
国内超硬耐摩耗工具業界で当社は**長期に亘り**、**トップシェア（30%超）**を堅持  
少量多品種の**高付加価値製品**の販売が主で、販売価格は**安定して推移**

## 超硬耐摩耗工具・国内出荷額シェアの推移



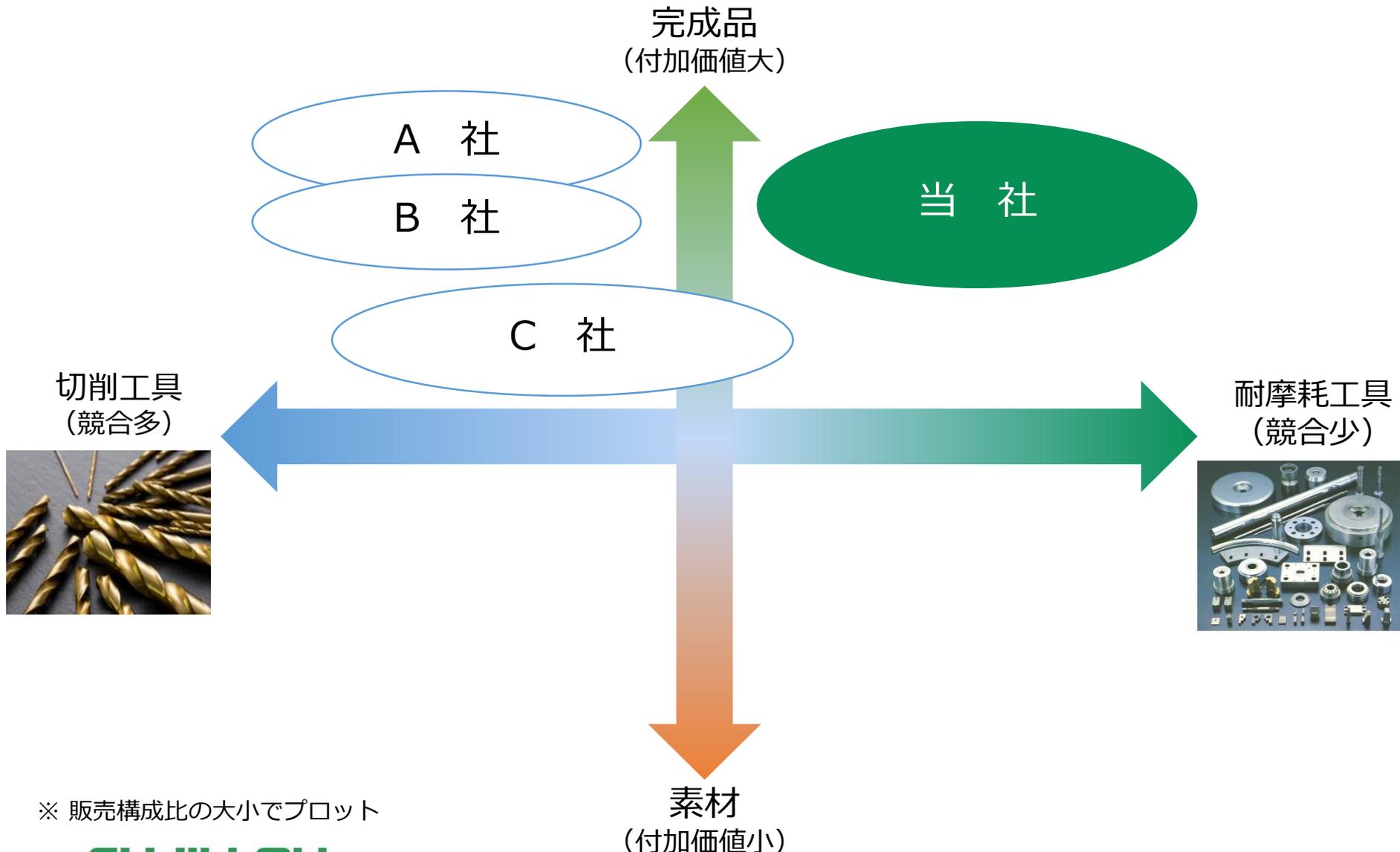
※2021年3月期は新型コロナウイルスの影響が大きいため除外

## 製品の平均単価の推移



出所：日本機械工具工業会

# 工具業界 ポジショニングマップ（上場企業）



※ 販売構成比の大小でプロット

**FUJILLOY**

© Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

02

ニッチトップを支える  
「開発力」×「技術力」×「営業力」

# 一貫生産体制により様々なオーダーに対応

- 設計から原料粉末の調製、焼結、機械加工、製品検査まで一貫した受注生産体制
- 高度な粉末冶金技術と加工技術
- 様々なオーダーに対し柔軟に対応が可能（多品種・少量生産）



# 高い評価を受ける素材開発力

## 日本機械工具工業会賞において最高栄誉の「技術功績大賞」 および「環境特別賞」を受賞

- 日本機械工具工業会主催の「2023年度日本機械工具工業会賞」において、「高熱膨張ガラス成形金型用新硬質材料（フジロイTR05/TR30）の開発」が最高栄誉の「技術功績大賞」を受賞
- さらに、当社の近年の廃棄物削減、再資源化率の向上の取り組みが評価され、「環境特別賞」を同時に受賞



【技術功績大賞】



熱による寸法の変化量をガラスと同程度の従来比2倍に引き上げることでプレス成型時の割れを防ぎ、熱膨張係数が大きいガラスレンズの安定的な量産を可能に。

【受賞製品「フジロイTR05/30」】



【環境特別賞】

## 高い評価を受ける素材開発力

### 2023年 第66回十大新製品賞において 「モノづくり賞」を受賞

- 「高熱膨張ガラス成形用新硬質材料【フジロTR05】」が、日刊工業新聞社主催の「2023年 第66回十大新製品賞」において「モノづくり賞」を受賞。
- 日本機械工具工業会主催の「2023年度日本機械工具工業賞」において「技術功績大賞」に続く受賞となった。



### 2023年超モノづくり部品大賞 「奨励賞」を受賞



【受賞製品「サステロイST60」】

- レアメタル使用量を9割削減した新材料「サステロイST60」が、モノづくり日本会議/日刊工業新聞社主催の「2023年超モノづくり部品大賞」において「奨励賞」を受賞

## 高い評価を受ける加工技術力

### 「2024年度（第8回）精密工学会ものづくり賞」において「最優秀賞」を受賞

- ガラス成形用高熱膨張新硬質材料（フジロイTR05/TR30）の開発および超精密加工技術の確立が評価され公益社団法人精密工学会主催の「2024年度（第8回）精密工学会ものづくり賞」において「最優秀賞」を受賞。
- 「2023年度日本機械工具工業会賞」における「技術功績大賞」、「2023年 第66回十大新製品賞」における「モノづくり賞」に続き、**3度目の受賞**となった。

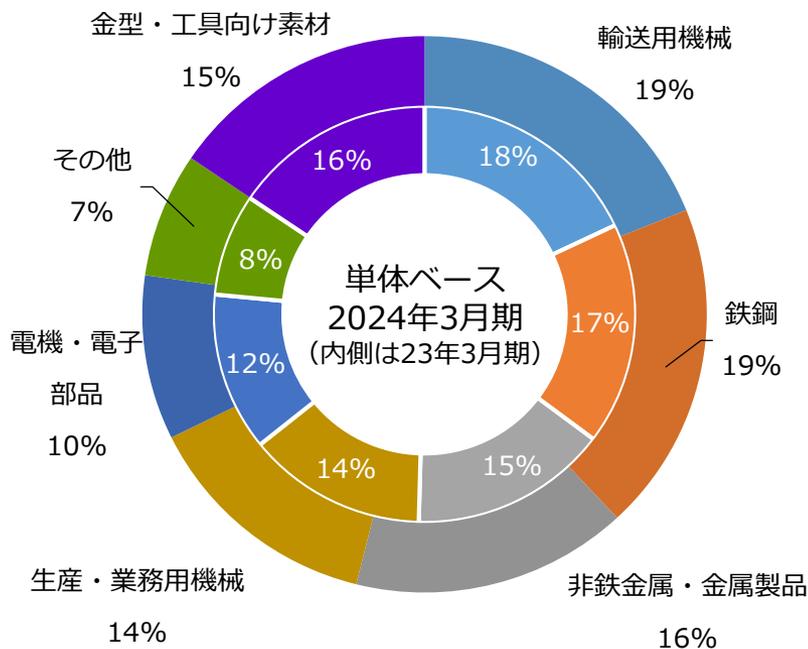


【岡山大学で行われた贈賞式と「ものづくり賞受賞講演」】

# 受注生産・直販体制、取引先は約3千社に上る

少量多品種の顧客毎のカスタムメイドの受注生産・直接販売を行う  
顧客との強固なネットワークにより、取引社数は約3千社、業種も幅広い  
特定の業界動向に影響されない安定性が強み

【顧客産業分類区分売上構成(%)】



【営業・生産拠点 (2024年9月末時点)】

【国内】

- 生産・営業拠点 5ヶ所
- 生産拠点 2ヶ所
- 営業拠点 5ヶ所

【海外】

- 生産・営業拠点 2ヶ国  
タイ・インドネシア
- 営業拠点 3ヶ国  
中国・マレーシア・インド (休眠中)

# 03

成長への道筋と株主還元

# 当社グループを取り巻くビジネス環境と対処すべき課題

## ビジネス環境

### 機会

- ・ サステナブル社会実現要請の高まり
  - ▷ 脱炭素社会への移行  
(次世代自動車への転換を含む)
  - ▷ 自然環境（資源・生物多様性等）の保護
  - ▷ 人的資本経営
- ・ DX技術の進展、社会実装の加速

### 脅威

- ・ 日本の人口減少、高齢化、慢性的な低成長
- ・ 資源価格高騰、世界的なインフレ
- ・ 原料調達リスクの高まり
- ・ 地政学的リスクの高まり

## 対処すべき課題

### 変化に対応できる企業体質への転換

- ・ 人財の確保、育成
- ・ 顧客の「変化」の見える化
- ・ 生産性向上（業務効率の向上）
- ・ 持続可能な資源の有効活用
- ・ 将来の成長基盤の育成  
(新製品・新材料・新技術)
- ・ 新規市場の開拓  
(新分野・海外)
- ・ 資本効率を意識した経営

中期経営計画2026

# 中期経営計画2026のコンセプト

## 変化に対応できる企業体質への転換

### ① 経営基盤の強化

② 生産性向上  
業務効率化

③ 海外事業  
の飛躍

④ 脱炭素・循環型  
社会への貢献

⑤ 新規事業  
の確立

既存事業領域

新規事業領域

利益率向上

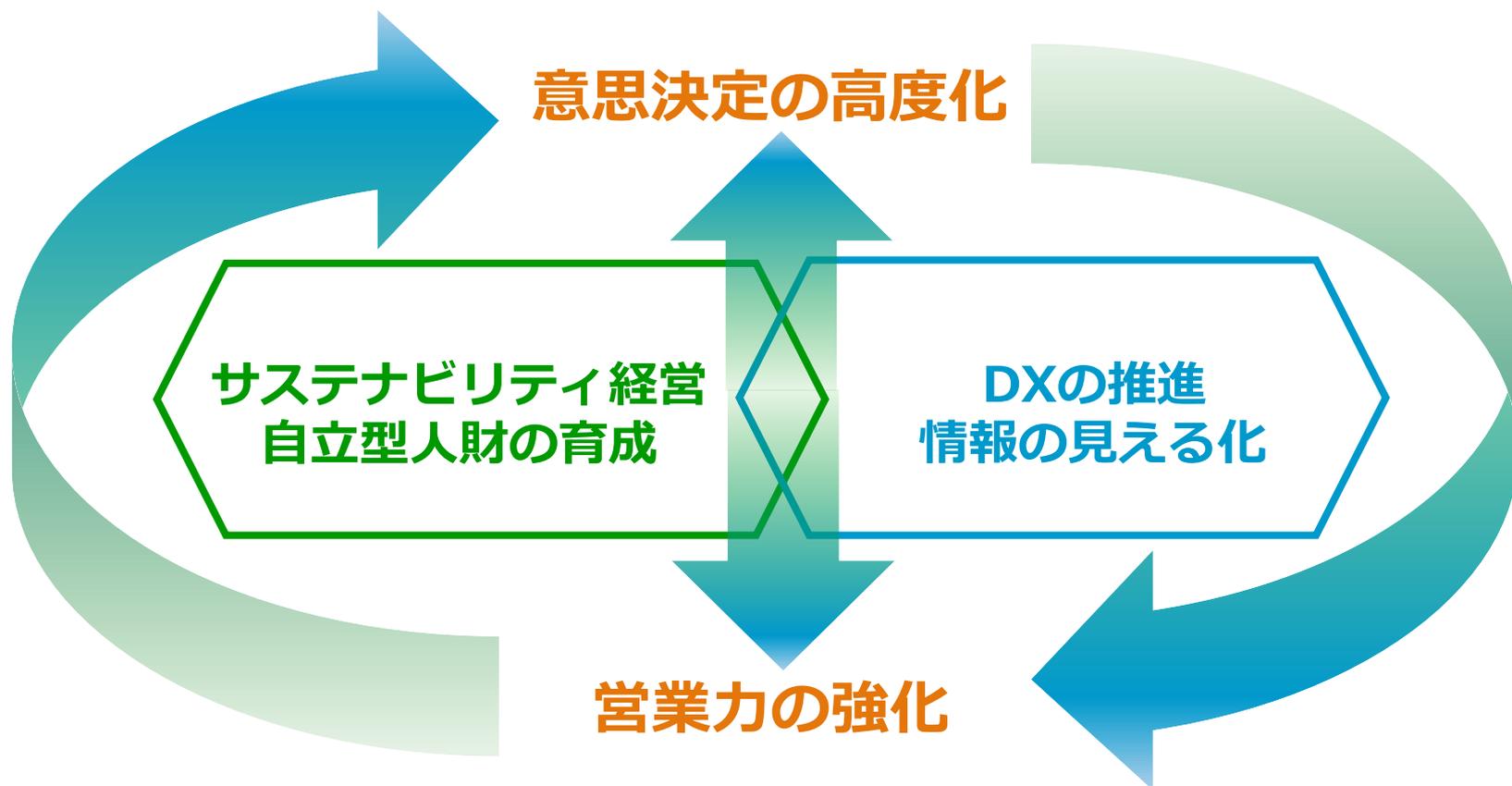
売上拡大

国内事業は成長の基盤（安定的に成長）、成長を牽引するのは海外事業  
将来の成長基盤の育成として新事業の実現という方向性

## 重要施策① 経営基盤の強化

### サステナビリティ経営とDX化を軸に組織力を高め、経営判断を迅速化

- ・ サステナビリティ経営の推進(環境・社会課題解決への貢献、人的資本投資の強化、ガバナンスの充実)
- ・ 「あらゆる情報の見える化」、「お客様との接点強化」を進めるためのIT活用を含めた営業活動の強化
- ・ データ化の推進、データに基づく意思決定の高度化
- ・ ブランドイメージの社外浸透やインナーブランディングの強化のコーポレートブランディング



## 重要施策② 生産性向上・業務効率化

### 各部門における自動化・省力化、DX化等による業務効率化を推進

- ・ 国内営業部門における営業活動体制の再構築
- ・ 国内生産部門におけるロボット化等による自動化・省人化
- ・ 基幹システムの刷新、ワークフロー導入等によるデジタル化
- ・ 不採算製品の収益改善

### 【国内生産部門におけるロボット化等による自動化・省人化】

#### 自動化の実現

#### 効率改革活動（人的資本強化）

【2022年3月期-2024年3月期】

【2025年3月期-2027年3月期】

#### 効率改革活動 （人的資本強化）

#### ムダ作業削減・作業時間の標準化・映像による技能伝承

- 社員の力量向上、平準化の取組みをデジタル化
- 映像化から短時間で力量向上、社員育成できる仕組みを構築

【前中計からの継続】

- ・ 継続的に作業分析から改善、施策実行
- ・ 加工自動化に向けた加工条件を標準化
- ・ 効率改革活動の全社推進

製造部門 原価率低減：3.0%  
素材部門 生産性15%向上  
（2024年3月期比）

#### 自動化設備の導入



郡山製造所の冶金作業  
に自動化ロボットを導入  
（2023年7月）



郡山製造所に研削加工  
自動化ロボットを導入  
（2024年3月・本格稼働6月）

- 自動化構想立案、自動化設備の導入（横展開）
- 教育資料のデジタル化
- 進捗管理のデジタル化
- 暗黙知の技術知見のIoT化

#### 自動化の実現

## 重要施策③ 海外事業の飛躍

海外子会社と日本からの直接輸出の両輪で海外売上拡大を図る  
アジア地域でのシェア拡大に加え、北米/インドにおける市場開拓を促進

- ・ 次世代自動車関連製品の積極展開
- ・ 商社や現地の加工メーカーとの積極的な協業による顧客開拓
- ・ インド・北米地域における拠点設置を含めた活動強化
- ・ 海外製造拠点の生産性向上

2027年3月期  
目標海外売上比率：25%以上

### インド

自動車部品および鉄鋼メーカーを主に受注増加傾向

<対応>

- 展示会活用による知名度向上
- 休眠再開に向け市場再調査中

### 中国

経済成長減速の影響もあり主要な電子半導体関連メーカーなどからの受注減少

<対応>

- 設立した東莞拠点における営業活動強化
- 潜在需要の大きいEV関連メーカーへの新規拡販強化
- 展示会活用による知名度向上

### 北米

一部の顧客好調により受注増

<対応>

- 潜在需要獲得のため新規拡販活動を強化
- 展示会出展による知名度向上
- 現地法人設立も視野に入れ市場調査中

富士模具：販売拠点（上海/東莞）

Fujilloy Thailand：生産/販売拠点

Fujilloy Malaysia：販売拠点  
（ベナン/クアラルンプール）

Fujilloy Indonesia：生産/販売拠点

### 海外事業本部

### アセアン

主要な自動車部品メーカーや半導体関連部材メーカーは生産調整などの影響により受注はやや減少傾向

<対応>

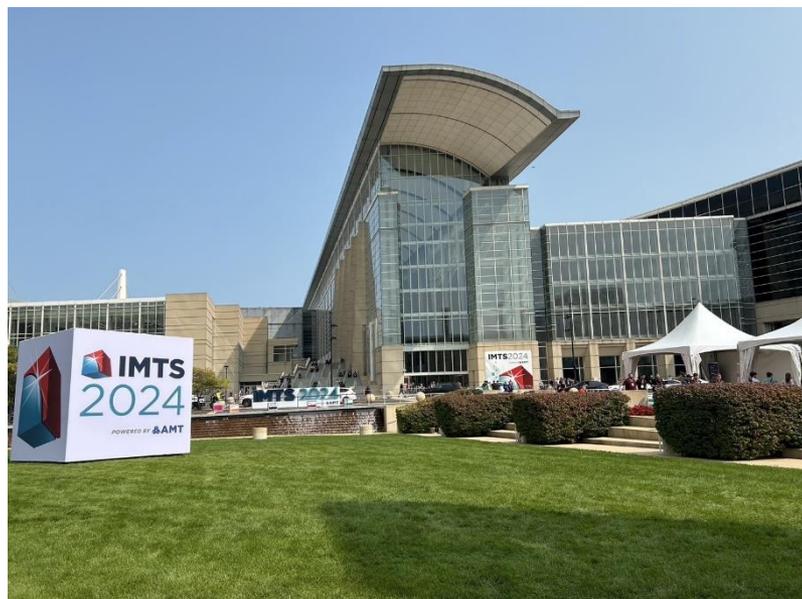
- 主要な自動車部品メーカーや半導体関連メーカーへの深耕
- EV関連メーカーや未参入分野の市場開拓
- タイ及びインドネシア工場の生産性向上による競争力強化と収益性向上
- ベトナム/フィリピンにおける市場再調査

## 重要施策③ 海外事業の飛躍 北米で開催された展示会への出展

- 2024年9月9日～9月14日に北米シカゴで開催された展示会「IMTS2024 - International Manufacturing Technology Show」に出展
- 展示会出展による北米での知名度向上を図り、潜在需要獲得のため新規拡販活動を強化



【弊社ブース】



【展示会会場 McCormick Place】

## 重要施策③ 海外事業の飛躍 中国で開催された展示会への出展

- 9月11日～13日に広東省深圳市で開催された「第25回中国国際オプトエレクトロニクス博覧会（CIOE 2024）」に出展
- 3月1日に中国にある子会社「富士模具貿易（上海）有限公司」の新しい営業所を電子部品や自動車大手メーカーが集積している華南エリアの東莞（広東省）に開設。東莞から近い深圳市で開催された展示会に出展することで、知名度向上と新規顧客開拓を推進

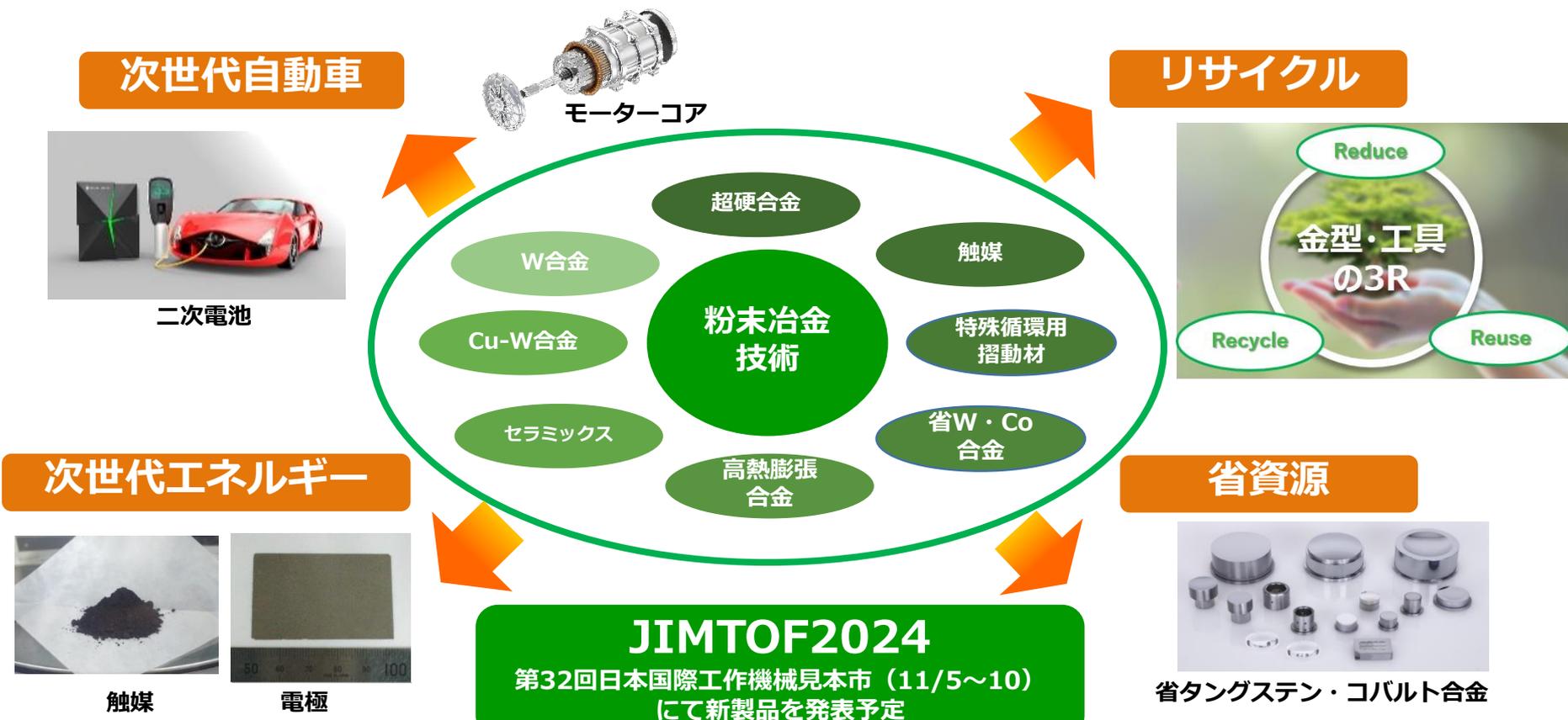


【弊社ブースの展示】

# 中期経営計画2026：重要施策④ 脱炭素・循環型社会への貢献

## 脱炭素・循環型社会の形成に貢献する製品を積極的に開発・市場投入

- ・ モーターコア用金型材種のラインナップ拡充
- ・ 次世代エネルギー分野に向けた水素発生用CO<sub>2</sub>還元用触媒関連製品の開発
- ・ 省タングステン・コバルト合金の拡販
- ・ 超硬工具・金型のリサイクル強化
- ・ 超硬工具・金型のリサイクル強化
- ・ 温室効果ガス排出量の削減

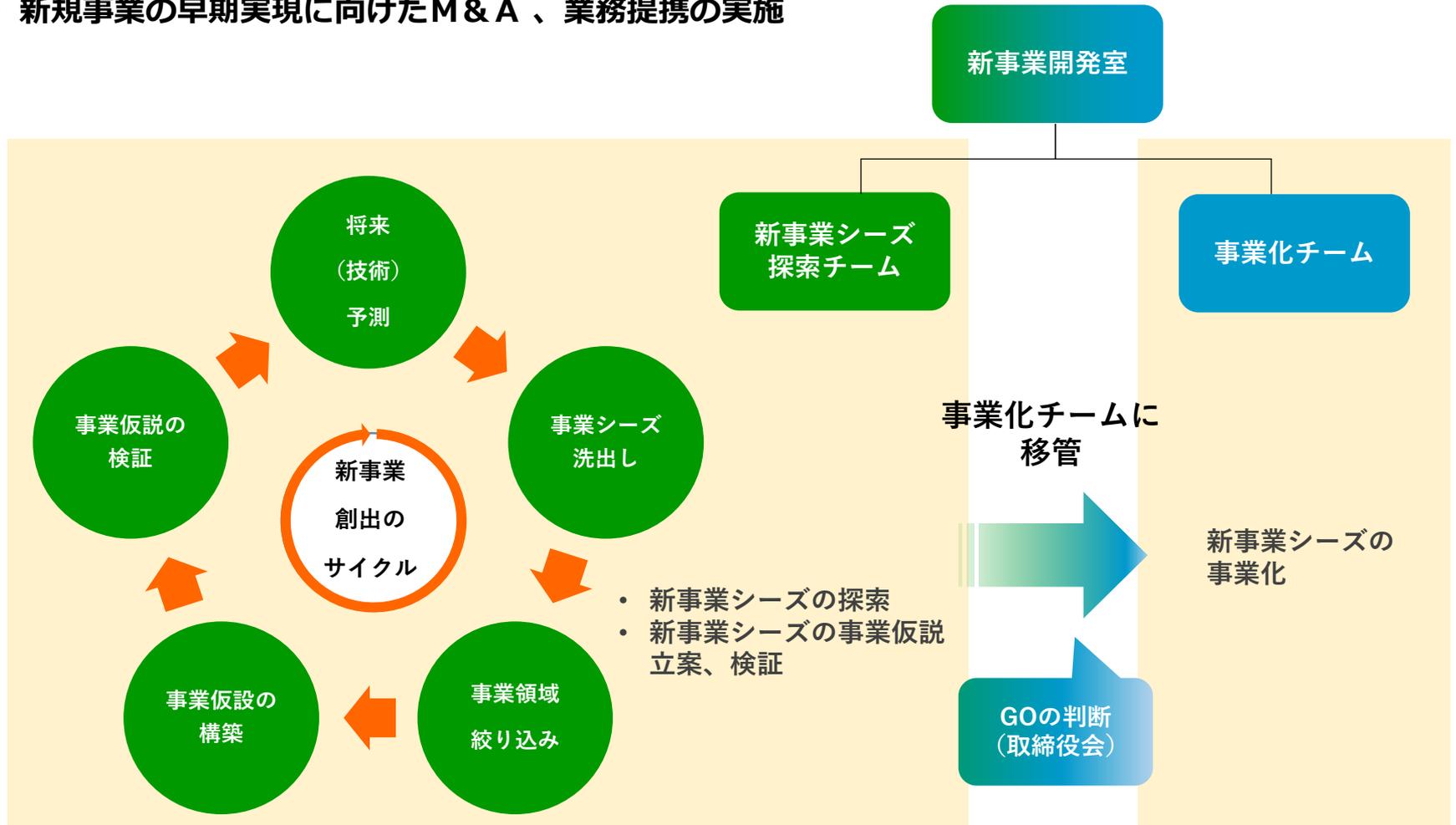


**JIMTOF2024**  
第32回日本国際工作機械見本市（11/5～10）にて新製品を発表予定

# 中期経営計画2026：重要施策⑤ 新規事業の確立

100年企業を目指し、新規事業の専門組織を立ち上げ、新事業シーズの事業化を加速

- 新規事業組織を発足（2024年7月）
- 新規事業の早期実現に向けたM&A、業務提携の実施



# 中期経営計画2026 連結数値目標

## 【2027年3月期における連結数値目標】

連結売上高  
**200億円**

営業利益  
**20億円**

経常利益率  
**10.5%**  
(経常利益 21億円)

ROE  
**7.0%**

	2024年3月期 実績	2025年3月期 業績予想	2026年3月期 目標	2027年3月期 目標
売上高	166.7億円	<b>180億円</b>	<b>190億円</b>	<b>200億円</b>
営業利益	8.0億円	<b>10.2億円</b>	<b>15.0億円</b>	<b>20.0億円</b>
経常利益	8.8億円	<b>11.5億円</b>	<b>16.0億円</b>	<b>21.0億円</b>
経常利益率	5.3%	<b>6.4%</b>	<b>8.4%</b>	<b>10.5%</b>
当期純利益	7.0億円	<b>8.2億円</b>	<b>11.5億円</b>	<b>15.0億円</b>
ROE	3.5%	<b>4.0%</b>	<b>5.5%</b>	<b>7.0%</b>

## 2025年3月期 業績見通し

- 売上高は自動車部品関連金型の回復に伴う需要増、新規営業拠点東莞において、中国市場深耕での販売拡大を見込む。
- 営業利益は人件費増加やIT関連費用の増加はあるが、売上高の増加により対前年比26.1%増の10.2億円を見込む。

営業利益  
**10.2億円**  
(前期比26.1%増)

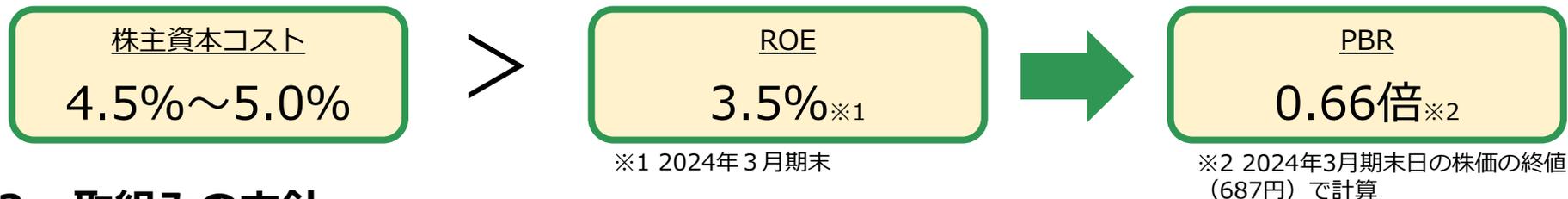
(単位：百万円)	2024年3月期 実績	2025年3月期 2Q業績予想	2025年3月期 業績予想	期末における 前期増減	期末における 前期増減率
<b>売上高</b>	<b>16,678</b>	<b>8,800</b>	<b>18,000</b>	<b>1,322</b>	<b>7.9%</b>
<b>営業利益</b>	<b>809</b>	<b>470</b>	<b>1,020</b>	<b>211</b>	<b>26.1%</b>
(営業利益率)	(4.3%)	(5.3%)	(5.6%)	(1.3%)	
<b>経常利益</b>	<b>882</b>	<b>530</b>	<b>1,150</b>	<b>268</b>	<b>30.4%</b>
(経常利益率)	(5.3%)	(6.0%)	(6.3%)	(1.0%)	
親会社株主に帰属する 四半期／当期純利益	<b>709</b>	<b>380</b>	<b>830</b>	<b>121</b>	<b>17.0%</b>
1株当たり 当期純利益	<b>35.72円</b>	<b>19.13円</b>	<b>41.78円</b>	<b>6.06円</b>	-
1株当たり配当額	<b>32.0円</b>	-	<b>40.0円</b>	<b>8.0円</b>	-
DOE	<b>※2.1%</b>	-	<b>4.0%</b>	<b>1.9%</b>	-

※普通配当の金額で計算。記念増配（一株当たり10円）を含めるとDOEは3.1%。

# 資本コストや株価を意識した経営の実現

## 1. 現状分析と課題

- ▶ 当社の株主資本コストは4.5～5.0%程度と認識 (CAPMで計算)
- ▶ 現状のROEは資本コストを下回っており、PBRも1倍を下回って推移
- ▶ ROEの改善と、PERの更なる向上が当社の重要な課題



## 2. 取組みの方針

- ▶ 「中期経営計画2026」に沿って「変化に対応できる企業体質への転換」を果たし、収益性や成長力を向上させる。



- ↑ 当期利益
- ▶ 業務効率化、海外事業の売上拡大による連結営業利益の増加
- 
- 自己資本
- ▶ 株主還元強化による株主資本(投資)効率向上
- ↓

- ▶ IR施策の強化による認知度、理解度の向上
- ▶ 新領域への進出 (M&Aを含む) による成長力の強化

## 目標指標

- ▶ ROE目標は株主資本コストを上回る水準を設定。
- ▶ 「中期経営計画2026」期間中は、配当の基準を配当性向からDOE（株主資本配当率）に変更、安定かつ株主還元を大幅に強化。

指標	目標（2027年3月期）	2024年3月期
ROE	7.0%以上	3.5%
PBR	1倍以上	約0.66倍 ※2
DOE ※1	4%目途	2.1% ※3

※1 DOE（株主資本配当率） = （年間配当総額 ÷ 株主資本） × 100

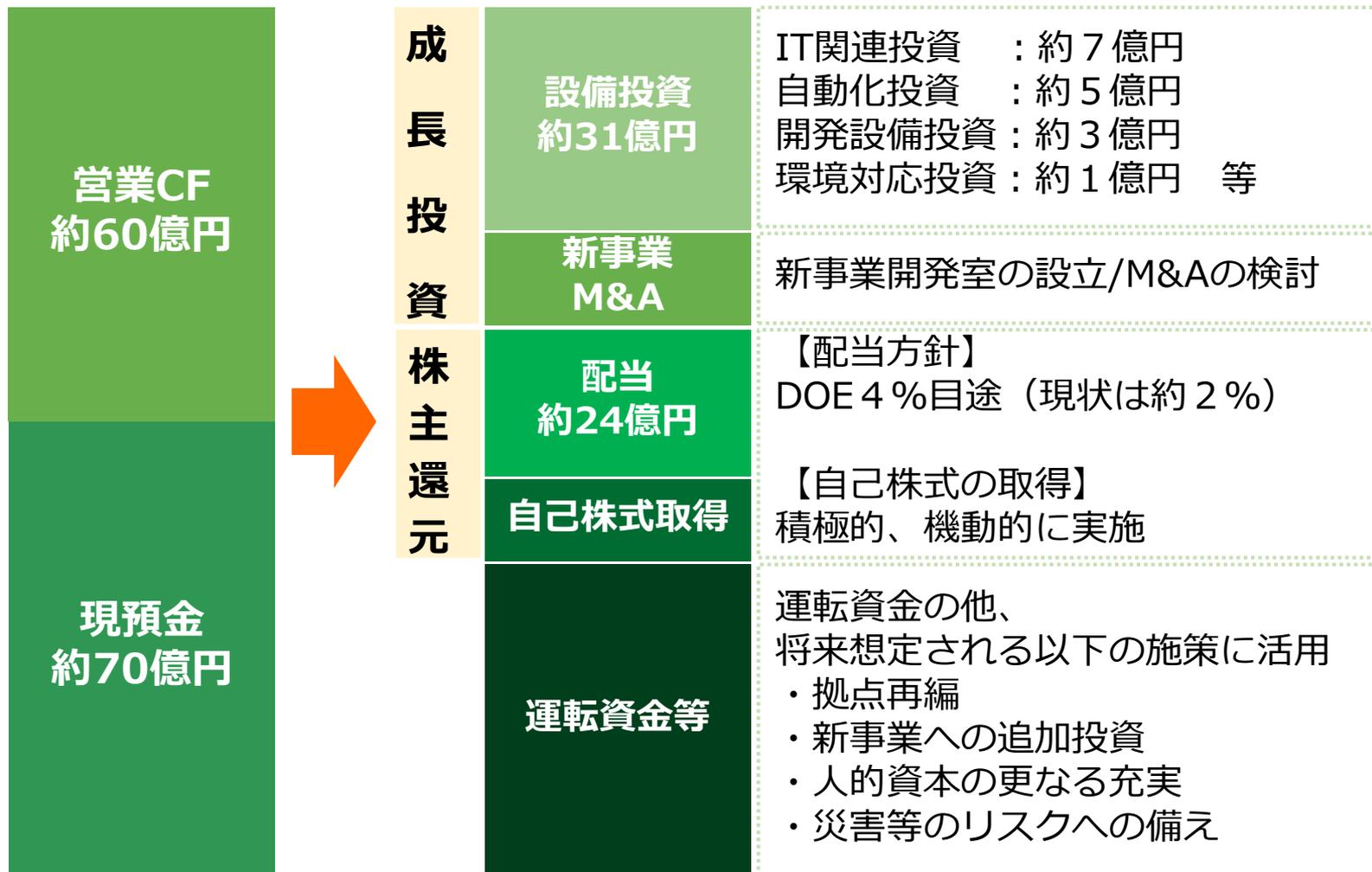
※2 2024年3月期末日の株価の終値（687円）で計算

※3 普通配当の金額で計算

記念配当（一株当たり10円）を含めるとDOEは3.1%。

# 資本政策 キャッシュアロケーション

- ▶財務の健全性を維持しつつ、成長投資と株主還元の両方を追求。
- ▶積極的なIT、自動化への投資で経営効率を向上させ、将来のキャッシュ創出能力を高める。

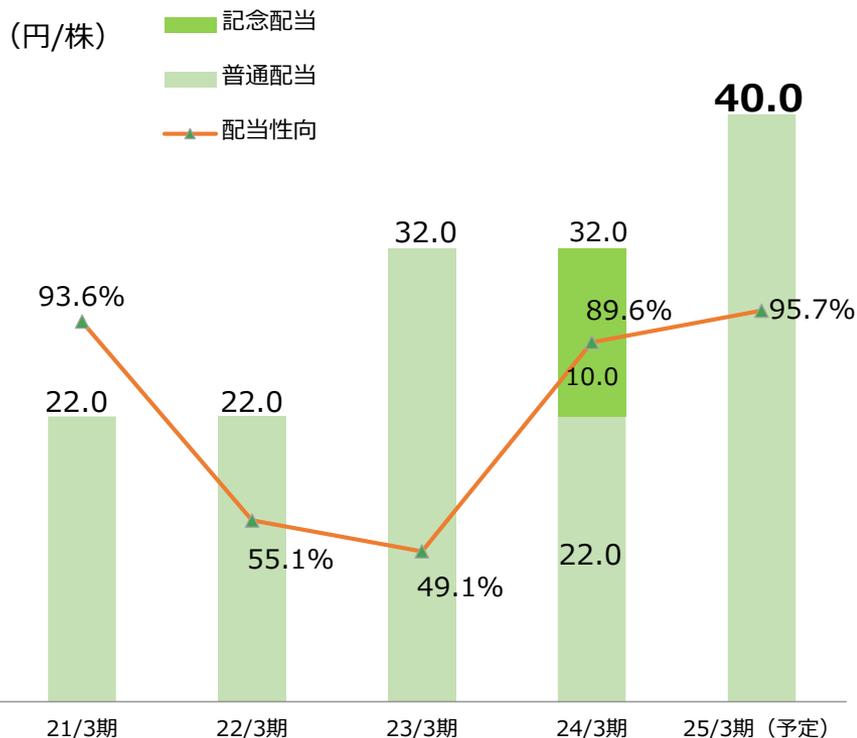


# 2025年3月期 株主還元・配当

・ 2025年3月期は1株当たり40円  
 【2024年3月期の1株当たり32円に対して、8円増配】

年間配当金  
**40円**

配当方針の変更に伴い、2024年3月期の1株当たり32円に対して8円増配（普通配当で18円増配）の40円を計画



## 株価の動き

【2024年3月31日時点】

株価	687円
配当利回り	4.66%
時価総額	137億円



2024年5月23日に「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた取り組み」を発表

【2024年9月30日時点】

株価	776円
配当利回り	5.15%
時価総額	155億円

株価  
 13%  
 アップ

# 当社IRサイトのご紹介

当社ホームページ「投資家情報」ページに業績ハイライトや開示資料を掲載



当社ホームページ  
<https://www.fujidie.co.jp/>

ぜひ、ご高覧ください

04

APPENDIX

# 富士ダイスの企業理念・大切にしている価値観・長期ビジョン

## 企業理念

- ◆ 事業を通じて広く社会に貢献し、幸せな人を育てる
- ◆ 人間尊重、人間中心の経営

## 基本的な考え方（私たちが大切にしている価値観）

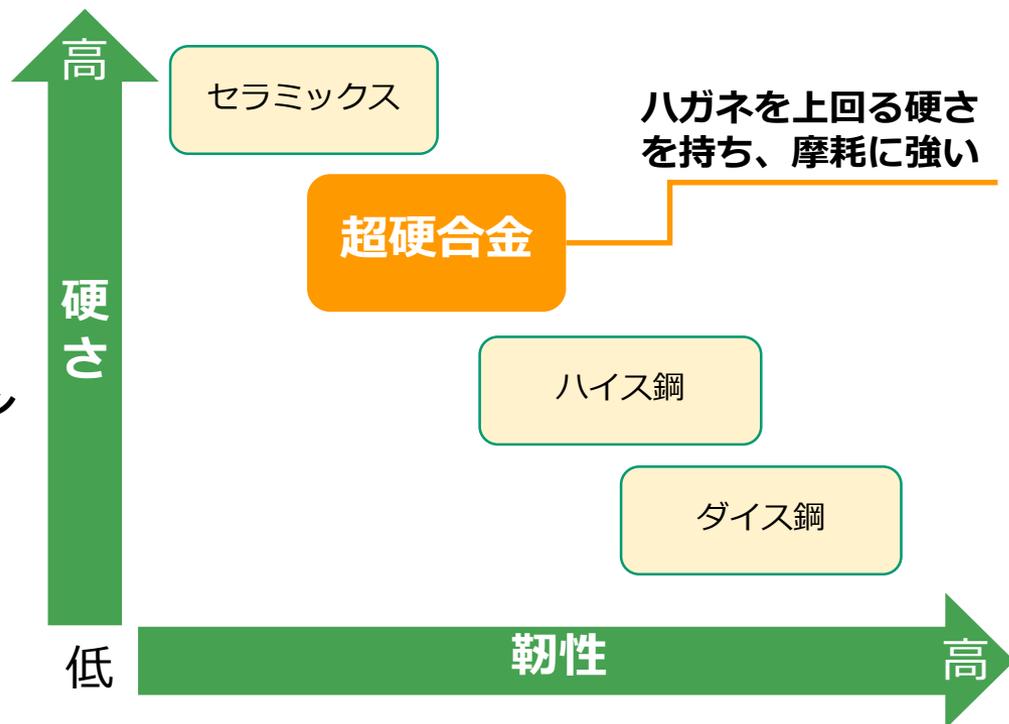
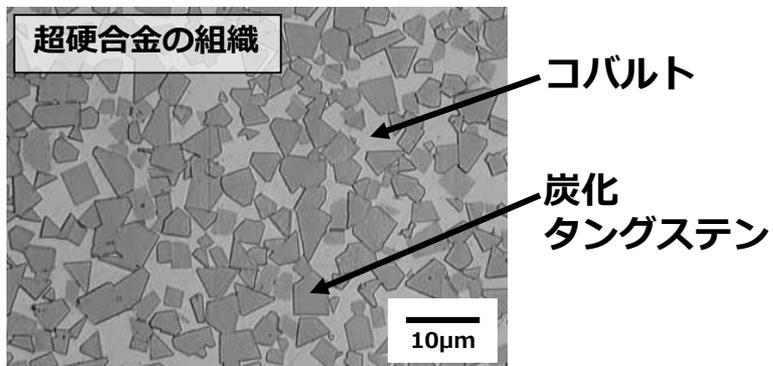
- 報恩感謝
- 和
- 創造と革新
- 誠実
- 質実剛健

## 長期ビジョン

1. 世界のものづくり界のリーディングカンパニー
2. 品性ある企業グループ並びに企業人

# 超硬合金とは

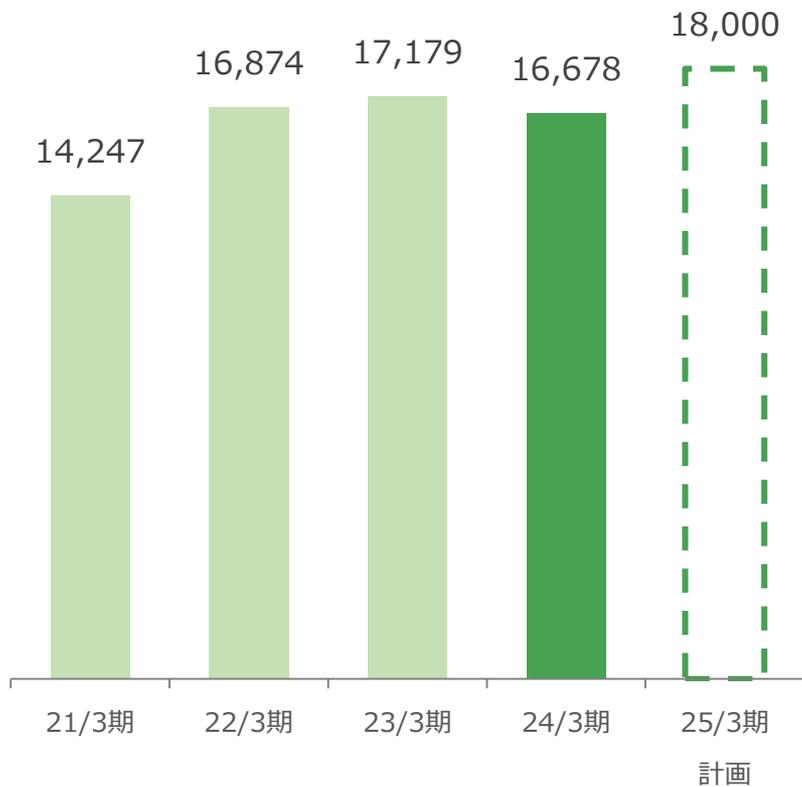
- 炭化タングステンなどの**硬質炭化物**とコバルトなどの**金属**を組み合わせた**金属材料**
- ステンレスや鋼鉄を凌ぐ**硬さ**を誇り、**圧縮強さ**、**耐摩耗性**に優れる
- **変形しにくく**、高い精度が求められる**金型**や**工具の材料**として適している
- 金属の粉末を型に入れ圧縮して成型し、融点より低い温度で長時間焼いて固める「**粉末冶金法**」で製造される



# 業績の推移 1/3

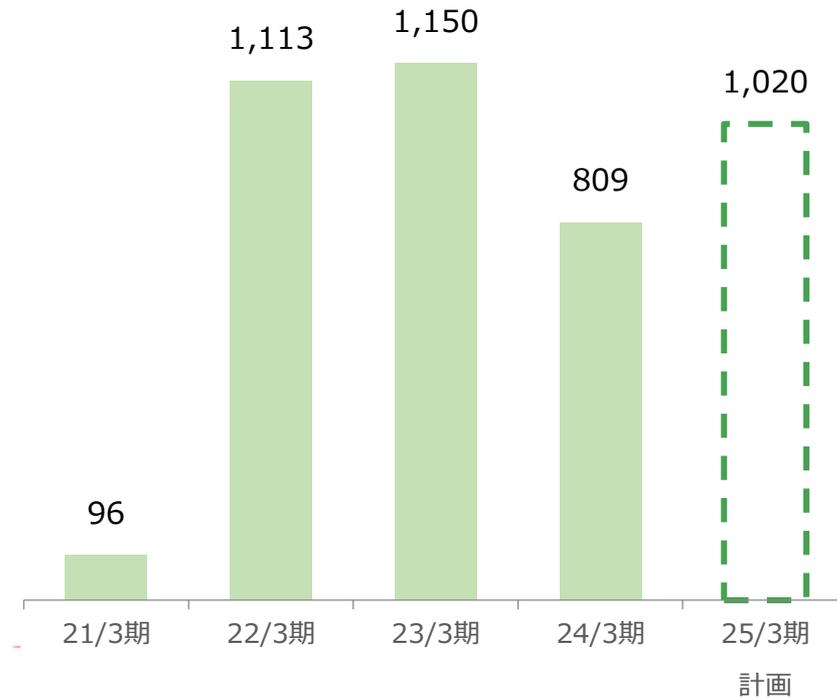
## 売上高

(百万円)



## 営業利益

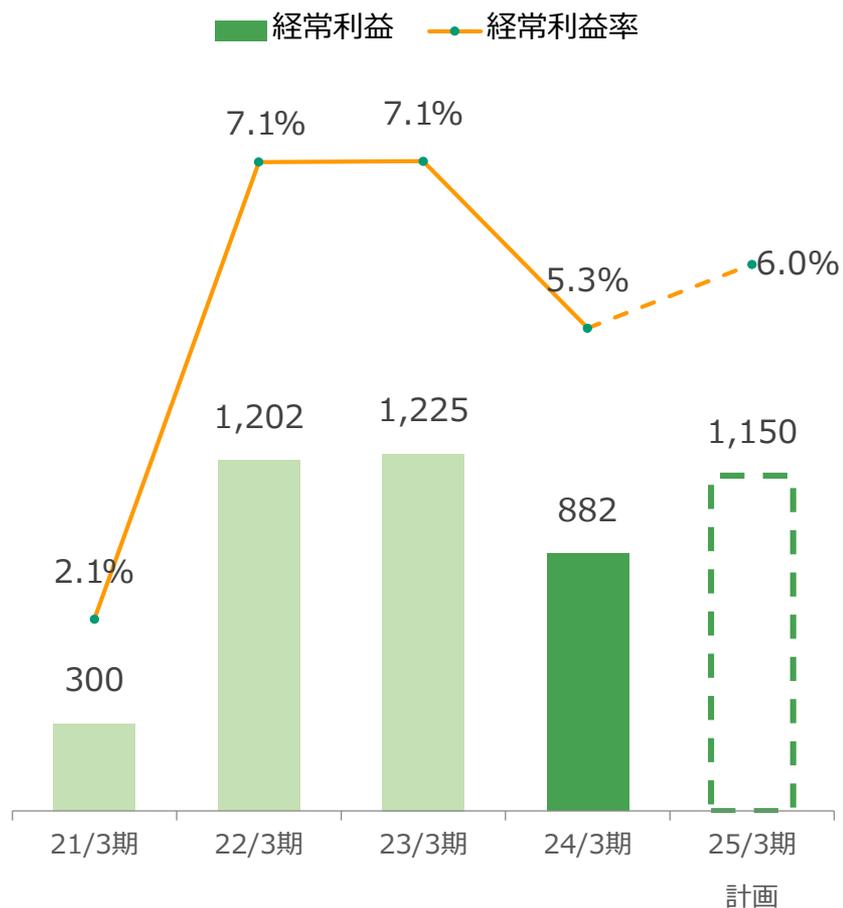
(百万円)



# 業績の推移 2/3

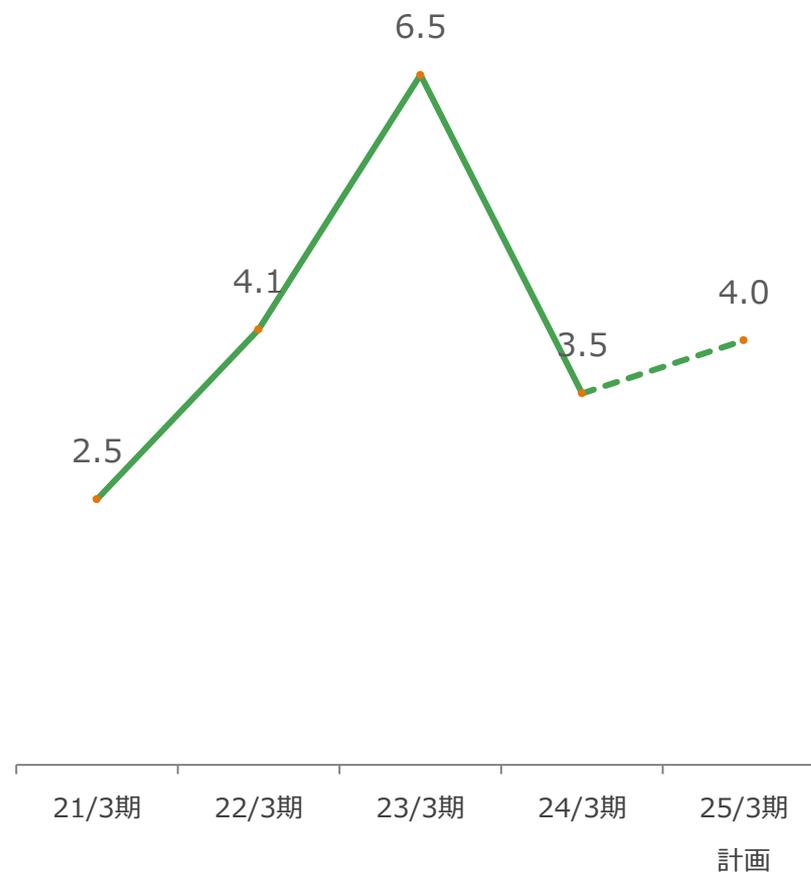
## 経常利益

(百万円)



## ROE

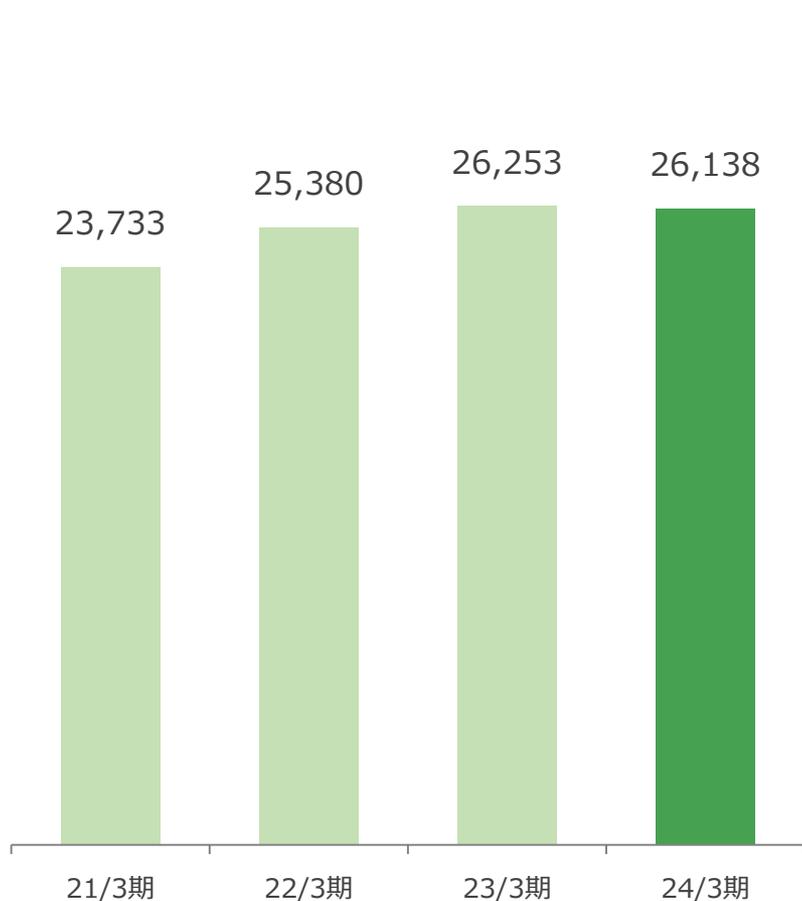
(%)



# 業績の推移 3/3

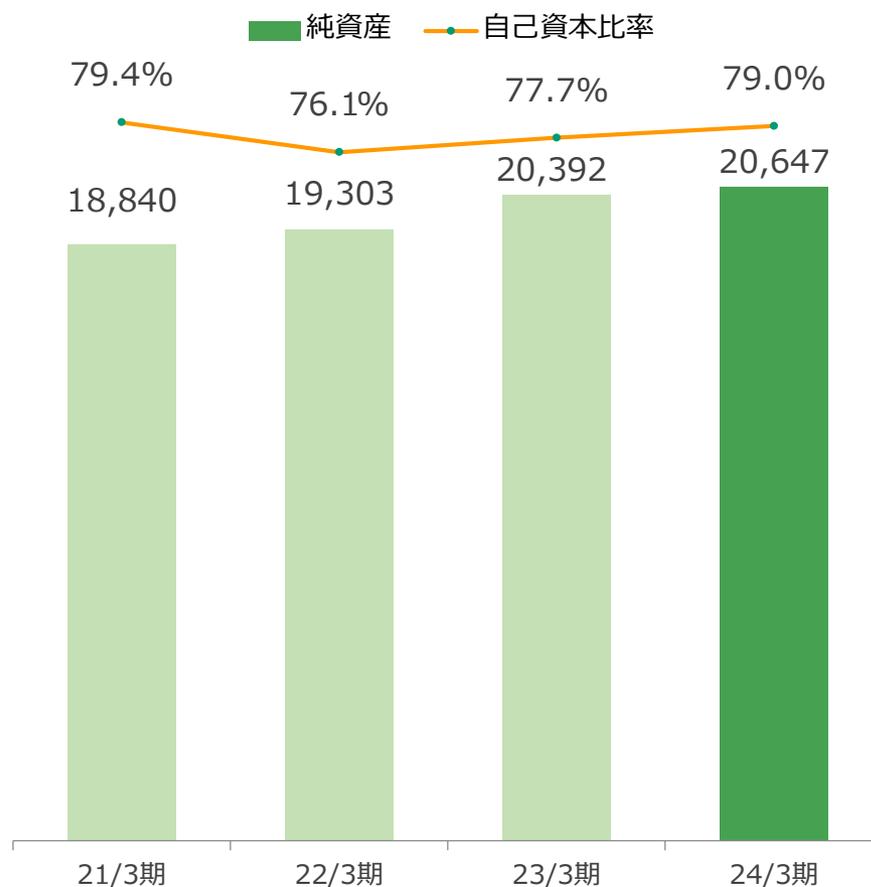
## 総資産

(百万円)

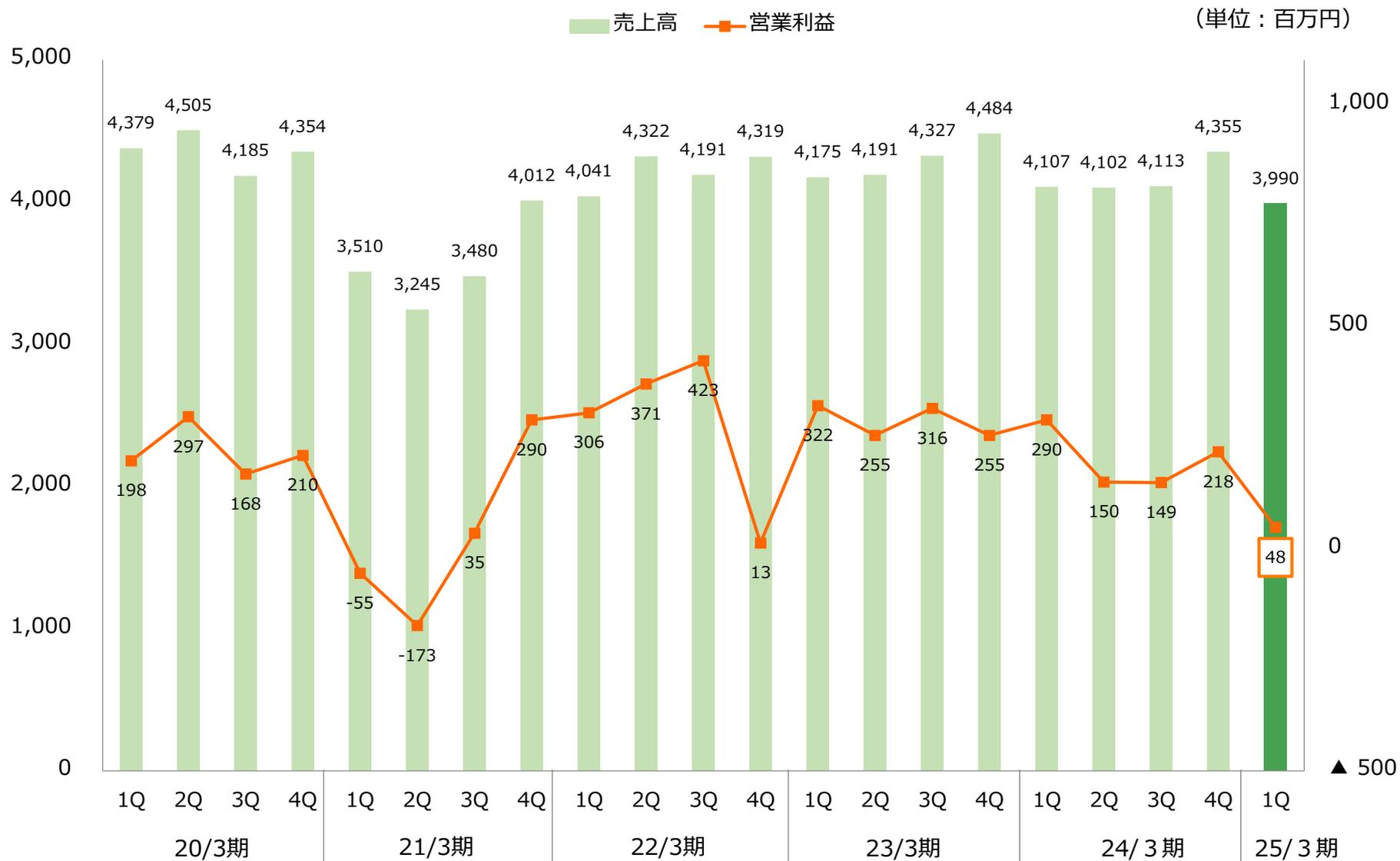


## 純資産

(百万円)



# 連結四半期業績推移



## 免責事項について

当資料は、富士ダイス株式会社の現状をご理解いただくことを目的として、作成したものです。当資料に記載した内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢及び当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成しており、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更する可能性があります。

また、当資料には見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものがあり、当資料に記述されている内容とは異なる結果を生ずる不確実性（市場、金利、為替の変動といった国内外の経済状況等）が含まれております。今後、新たな情報や出来事等が発生した場合、当社は本資料の更新・修正を行う義務を負うものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

尚、情報の掲載には細心の注意を払っておりますが、情報の誤りや改ざん、データのダウンロード等で被ったいかなる損害についても、当社は一切責任を負うものではありません。